

東営市概況



【基礎情報】(2024年)

- 人口: 220.60万人(省内16位/16市)
- 面積: 8243km² (省内11位)
- GDP: 4307.7億元(省内9位)



【党委書記 楊国強】

1970年1月生まれ、煙台出身。
2022年1月～現職

(前任: 李寬端・山東省人民政府参事)



【市長 陳必昌】

1977年7月生まれ、福建省出身。
2021年1月～現職

(前任: 趙志遠・外交部部長助理)

【歴史的エピソード】

- ◆ 広饒県は「孫子の兵法」の作者である孫武の出身地との説あり。
- ◆ 東営の地名は油田発見地である東営村に由来。

【現在の特徴】

- ◆ 黄河が渤海に流れ込む地で、湿地率が42%と高い。渡り鳥のルートが中国に8本あるうちの3本が東営市を通る。
- ◆ 環渤海経済圏と黄河流域が合流する戦略的な地点に位置している。
- ◆ 国内第二の広さを誇る勝利油田の拠点有するほか、ゴムタイヤの生産量も全国の5分の1を占め有名。
- ◆ 現在、クリーンエネルギーの電力貯蔵・輸送一体化基地を建設中。
- ◆ 特産・名物: 利津剪紙(切り紙)、呂劇、齊筆(中国四大毛筆の一つ)等。

【日本との関係】

- ◆ 在留邦人: 9人(2024年10月現在)。
- ◆ 友好都市: なし(2010年に木更津市と友好都市関係意向書を締結)。
- ◆ ODA: 黄河三角洲農業総合開発事業(2000年)の円借款協力実績あり。

【グルメ】

- ◆ 黄河口カニ、利津水煎包等



【観光地】

◆黄河入海口

黄河が渤海に流れ込む場所。船で河水と海水の混じる境界線の様子を見学することが可能。



◆天鵝湖

総面積40平方キロに及ぶ人工湖には、毎年11月から4月にかけて大量の白鳥が飛来することで有名。



◆孫武祠

孫武の省外を紹介する資料館、高さ3メートルの孫武の大理石像。山東省で祐いつという南宋時代の木造建築(武聖殿)見所。近くの講師文化園は遊園施設。

